

あなたの物忘れ、大丈夫ですか？

高齢者人口の増加とともに、認知症を発症する高齢者も増えていくことが予想されます。現在、市内の高齢者の約1割に認知機能の低下が見られ、今後、日常生活を送る上で何らかの介助を必要とする方が増えていくと見込まれます。

住み慣れた地域に安心して暮らし、長生きして良かったと実感できるように、認知症について正しく理解し、予防しましょう。



問い合わせ 高齢・介護グループ (☎05 5720)

高齢化・認知症の基本情報

登別市の高齢化の状況

	平成25年度	平成24年度
総人口	50,613人	50,985人
65歳以上	15,734人	15,340人
75歳以上	7,531人	7,352人
高齢化率	31.1%	30.1%
認知症高齢者数※ (高齢者人口に占める割合)	1,883人 (12.0%)	1,703人 (11.0%)

※介護認定審査会（65歳以上）の認定調査による『認知症高齢者の日常生活自立度Ⅰ』以上の方

加齢と認知症による物忘れの違い

加 齢	認知症
経験したことが部分的に思い出せない	経験したこと全部を忘れていく
目の前の人の名前が思い出せない	目の前の人が誰なのかわからない
物の置き場所を思い出せないことがある	置き忘れ・紛失が頻繁になる
何を食べたか思い出せない	食べたこと自体を忘れていく
約束をうっかり忘れてしまう	約束したこと自体を忘れていく
物覚えが悪くなったように感じる	数分前の記憶が残らない
曜日や日付を間違えることがある	月や季節を間違えることがある

認知症は早期の発見・治療によって症状を軽くしたり、進行を遅らせたりすることができます。認知症が疑われる場合は、専門機関を受診しましょう。

認知症に関する取り組み

市は、認知症を発症した本人や家族などを支援するため、次の取り組みを行っています。

◆かろやか教室

介護予防に努め、健康寿命を豊かに過ごせるよう、かろやか体操・口腔衛生・栄養改善・認知症予防などについて指導や講話を行っています。

◆家族教室

介護者が互いに介護の苦労や悩みなどを打ち明け、相談し、気持ちを共有することで介護の負担を和らげることが目指す教室です。

◆SOSネットワークシステム

高齢者が所在不明となった場合に、関係機関との連携により早期発見するシステムです。

◆認知症サポーター養成講座

認知症を正しく理解し、認知症を発症した方や家族の応援者となる『認知症サポーター』を養成します。

**認知症の不安は
専門機関に相談しましょう**

認知症の診断は初期ほど難しく、専門の医療機関の受診が大切です。

認知症疾患医療センター

認知症の専門医療相談、鑑別診断（検査・専門医の診察）などができます。検査・診察は予約制です。

◎ 恵愛病院 (☎07 0100)

◎ 三愛病院 (☎03 3207)

地域包括支援センター

地域で暮らす高齢者を総合的に支援するため、市が委託運営している相談窓口です。

◎ けいあい (☎05 5005)

担当地区 新生町・栄町・若草町

驚別町・美園町・上鷺別町

◎ ゆのか (☎02 1006)

担当地区 柏木町・富士町・片倉

町・新川町・桜木町・緑町・若山

町・富岸町など

◎ あおい (☎05 511)

担当地区 登別温泉町・登別東町

登別本町・千歳町・幌別町・常盤

町など

高齢・介護グループ (☎05 5720)

高齢者に関わる相談や事業を行うつしまち。

後期高齢者医療制度のお知らせ

保険証（被保険者証）と減額認定証の一斉更新について

問い合わせ
年金・長寿医療グループ (☎⑧2137)
北海道後期高齢者医療広域連合
(☎011-290-5601)

保険証と減額認定証（限度額適用・標準負担額減額認定証）の有効期限は7月31日(木)です

■保険証と減額認定証（限度額適用・標準負担額減額認定証）が新しくなります■

7月中に新しい保険証と減額認定証を郵送しますので、8月1日(金)からは新しいものを使用してください。

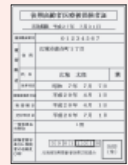
○新しい保険証と減額認定証の有効期限は、平成27年7月31日(金)です。

○新しい保険証の色は黄緑色、減額認定証は黄色です。

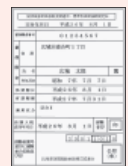
新たに減額認定が必要となる方は交付要件（区分ⅠまたはⅡに該当）を確認し、年金・長寿医療グループに申請してください。

区分Ⅰ：世帯全員が住民税非課税である方のうち、世帯全員の所得が0円の方（公的年金収入のみの場合、その受給額が80万円以下の方）または老齢福祉年金を受給している方

区分Ⅱ：世帯全員が住民非課税の方



▲保険証



▲減額認定証

■医療費通知の発行を希望する方へ■

被保険者の方に健康や医療に対する理解を深めてもらうため、医療費を半年ごとにまとめ、発行希望者を対象に医療費通知を送付しています。

新たに発行を希望する方は、北海道後期高齢者医療広域連合または年金・長寿医療グループへ連絡してください（電話連絡のみで手続きできます）。

なお、次の発行は、9月（平成26年1月～6月の医療費が対象）に行います。

※すでに『発行希望』の連絡をいただいている方は、継続して発行しますので再度の連絡は必要ありません。

※この通知を受け取ったことにより、申請などの手続きをする必要はありません。

※この通知を確定申告などの『医療費控除』の領収書の代わりとすることはできません。

節電にご協力ください

この夏は、各家庭・企業による節電（平成22年度最大電力比7.1%減（36万kWh減））を前提に、電力の安定供給に最低限必要な供給予備率3%以上を確保できる見通しです。

しかし、泊発電所の再稼働が不透明な中、引き続き高稼働が見込まれる火力発電設備の計画外停止の発生が懸念されますので、市民の皆さんには、無理のない範囲での節電にご協力をお願いします。

【節電をお願いしたい日時】

●7月1日(火)～9月30日(火) 9時～20時
※土・日曜日、祝日、8月13日(水)～15日(金)を除く。

問い合わせ 北海道電力(株)室蘭支店
(☎④1111)

室蘭工業大学オープンキャンパスを開催します

各学科での体験学習、実験、キャンパスツアーなどを行います。

▶日時 8月2日(土) 10時15分～15時50分
(受付9時30分～)

▶対象 高校生、教員、市民

▶場所 室蘭工業大学

▶申し込み 室蘭工業大学のホームページ、または入試グループ (☎④5163)

第28回 蘭岳コンサートを開催します

～演奏者～

田澤俊一（チェロ）、千葉理恵子（ピアノ）

▶日時 7月5日(土) 開場14時30分、開演15時

▶場所 室蘭工業大学 大学会館多目的ホール

▶入場料 無料

▶問い合わせ 室蘭工業大学 総務グループ
(☎④5014)